

交流大会に係る種目別実施要領の変更等について
(剣道、ミニバレーボール、還暦軟式野球、囲碁)

別 紙

R5-8-30

開催要領及び種目別開催要領について、次のとおり修正いたします。

1 修正該当頁

(1) 開催要領(剣道交流大会)

P17

(2) 開催要領(ミニバレーボール大会)

P20

(3) 開催要領(軟式軟式野球大会)

P21

(4) 開催要領(シルバー囲碁大会)

P23

2 修正内容

(1) 剣道交流大会

次のとおり変更します。

3 会場、 4 日程

新	旧
<p>3 会場 レゾナック武道スポーツセンター 道場1、2</p> <p>4 日程 (開催日、時間変更) 令和5年9月18日(月・祝) 受付 8:30~ 審判会議 9:00~9:15<会議室1> 監督会議 9:15~9:30<会議室1> 開会式 9:40~ 試合 10:10~ 閉会式 15:00~ <表彰式></p>	<p>3 会場 レゾナック武道スポーツセンター 道場1、2、3</p> <p>4 日程 令和5年9月24日(日) 受付 9:30~10:10 審判会議 10:10~ 監督会議 10:30~ 開会式 10:40~ 試合 11:00~ 閉会式 15:00~ <表彰式></p>

(2) ミニバレーボール大会

次のとおり変更します。

新	旧
<p>4 日程 (時間変更) 受付 8:30~8:55 監督会議 8:55~ 開始式 9:10~ 試合 9:30~ 閉会式 15:00~</p>	<p>4 日程 受付 9:00~9:25 監督会議 9:25~ 開始式 9:40~ 試合 10:00~ 閉会式 15:00~</p>

(3) 軟式野球交流大会

次のとおり追加します。

新
8 競技規則 (7)DH制を採用する。

(4) シルバー囲碁大会(交流大会会場)

シルバー囲碁大会に係る会場地について変更します。

新	旧
母子父子福祉センター、会議室・研修室 (大分県総合社会福祉会館東館・3階)	サイクルショップコダマ大洲アリーナ 剣道場

(13) 剣道交流大会



- 1 主 管 大分県剣道連盟
- 2 期 日 令和 5年9月18日(月・祝)
- 3 会 場 レゾナック武道スポーツセンター 道場1、2
- 4 日 程 受 付 8:30~
審判会議 9:00~9:15(会議室1)
監督会議 9:15~9:30(会議室1)
開 会 式 9:40~
試 合 10:10~
閉 会 式 15:00~
(表彰式)
- 5 参加資格 60歳以上(昭和39年4月1日以前に生まれた人とする。)
- 6 チーム編成 (1) 市町村ごとに1チーム以上を編成し、チーム対抗の団体戦を行う。
(2) チームの編成は、次のとおりとする。
監督1人 選手5人 交替選手2人 合計8人以内
(監督は選手を兼任できるが、その際は選手としても登録すること。ただし、交替選手を含めた規定の選手数を超えて、監督が選手として登録することはできない。)
(3) 参加者は、大分県剣道連盟会員であること。
- 7 競技方法 (1) 団体戦を行う。
(2) オーダーは年齢の若い順とする。
(3) 試合は予選リーグ・決勝トーナメント戦で行う。
- 8 競技規則 (1) 全日本剣道連盟剣道試合・審判規則とその細則及び新型コロナウイルス感染 収束するまでの暫定的な試合・審判方法による。
(2) 試合は、4分3本勝負とし、勝敗の決しないときは引き分けとする。
(3) 予選リーグ戦の順位決定は、(ア)~(カ)で決定する。
(ア) 勝ち数の多いチーム (イ) 負け数の少ないチーム
(ウ) 勝者数の多いチーム (エ) 総本数の多いチーム
(オ) (ア)~(エ)が同数の場合は、敗者数の少ないチームを上位とする。
(カ) (ア)~(オ)までが同数の場合は代表者戦を行う。
※代表者戦のポジションは、監督が抽選し勝った方が決める。
(4) 決勝トーナメント戦でチームの成績が同点の場合は、最初の引き分け者による代表者戦(1本勝負)で決定する。
- 9 大会規定 (1) 本大会を来年度全国健康福祉祭の選考会を兼ねて行い、原則として優勝チームを大分県代表とする。ただし、大分県代表のチーム編成上、必要な場合はチーム外からの補充を可とする。
(2) 試合の組み合わせは、主管者で行う。ただし、複数チーム出場のところは別リーグに分ける。
(3) 名札は通常使用のものでよい。
(4) その他通知事項がある場合は、剣道連盟各支部や連盟ホームページで随時発信・更新する。
- 10 表 彰 (1) 上位3位までを表彰する。(3位2チーム)
(2) その他、最高齢者賞を授与する。
- 11 申 込 み 各市町村は参加チームを取りまとめ、7月31日(月)【必着】までに大会事務局あて、参加申込を行うものとする。
- 12 競技種目責任者 大分県剣道連盟 副会長兼 専務理事 阿部 昭一

(16) ミニバレーボール大会



16 ミニバレーボール大会

- 1 主 管 大分県ミニバレーボール連盟
- 2 期 日 令和 5年9月24日(日)
- 3 会 場 レゾナック武道スポーツセンター 多目的競技場
- 4 日 程 受 付 8:30~8:55(2F) : 2階入口前ロビー
監督会議 8:55~(会議室1)
開 始 式 9:10~ ※総合開会式終了の後、会場設営
試 合 9:30~
閉 会 式 15:00~
※総合開会式終了後、会場設営を行なうため、時間は進行状況により変わる場合がある。代表者は連絡のとれる状態にいること。
- 5 参加資格
60歳以上(昭和39年4月1日以前に生まれた人とする。)
ただし、女性は58歳以上(昭和41年4月1日以前に生まれた人)とするが、55歳以上の人(昭和44年4月1日以前に生まれた人)を3名まで入れることができる。
- 6 チーム編成
(1) 各市町村ごとに1チーム以上のチームを編成し、試合を行う。
(2) チーム編成は次のとおりとする。
監督1名、選手15名以内で編成する。ただし、試合は10名以上12名以内によるベンチローテーション方式で行う。
(3) コート内には、58歳以上の女性が4名以上入っていること。
58歳以上の女性、70歳以上の男性は分かるように印を左肩口につける。
(4) 競技者は、1番~15番の背番号を背部につける。
(5) 主将の背番号は、10番とする。
(6) 男女混合チームは、コート内に男性が3名まで入る事ができる。
(7) 男性の70歳以上の人は1チームにつき1名：女性58歳以下の人としてコートに入ることができる。
- 7 競技方法
(1) レディースと男女混合チームとパートを分けて行う。
(2) パート別のリンクリーグ戦とする。(参加チーム数により対戦方法が変わる場合がある。)
(3) 1試合3セットマッチとし、各チーム2試合以上行う。
(15点先取 2セット先取 ジュースなし)
(4) 順位決定は、①勝率②セット率③得点率の順で決める。
(5) 各チームは、1セットに1回のタイム(30秒)を要求できる。
(6) 一度交替した選手は、そのセット中は再度出場することができない。
セットが変われば再び出場することができる。
(7) アタックサーブの禁止(サーブの薄片足または両足が床に着いていること)
(8) サーブブロックは禁止とする。
(9) サーブは、ローテーションの順序で行う。
(10) 男女混合チームの男性は後衛から前衛に回ってのジャンプアタック、ブロックはできない
- 8 競技規則
大分県ミニバレーボール競技規則に準じる。
- 9 大会規定
(1) 試合の組み合わせは、主催者で行う。
(2) ゼッケンは各チームで準備し着用する。
(3) 副審、線審、得点は各チームが行うので、笛(長・短)を準備すること。
- 10 表 彰 (1) 各パートとも3位まで表彰する。
(2) その他、最高齢者賞を授与する。
- 11 申 込 み 各市町村は参加チームを取りまとめ、7月31日(月)【必着】までに大会事務局あて、参加申込を行うものとする。
- 12 競技種目責任者 大分県ミニバレーボール連盟 加藤 匠悟



17 還暦軟式野球大会

- 1 主 管 大分県還暦軟式野球連盟
- 2 期 日 令和 5年9月23日(土)～24日(日)
- 3 会 場 (第1日) レゾナックスタジアム・レゾナック多目的グラウンド(西・東)
松原西球場
(第2日) レゾナックスタジアム・レゾナック多目的グラウンド(西)
- 4 日 程 (第1日) 交 流 試 合 9:00～
(第2日) 交 流 試 合 9:00～ (準決勝・決勝)
閉会式・表彰式 14:00～
- 5 参加資格 昭和39年4月1日以前に生まれた人とする。
- 6 チーム編成
(1) 市町村ごとに1チームを編成し、チーム対抗の団体戦を行う。
ただし、大分市は3チーム、他の市町村は合計15チームとする。
(2) チーム編成は、次のとおりとする。
監督1人 選手29人 合計30人以内
(監督は、選手を兼任できるが、その際は選手としても登録すること。)
ただし、交替選手を含めた規定の選手数を超えて、監督が選手として登録することは出来ない。)
- 7 競技方法
(1) 試合はA・Bパートに分けトーナメント方式による7回戦とし、延長戦は行わない。
終了時点で同点の場合は抽選とする。
(2) 競技時間は90分とし新しい回には入らない。
(3) コールドゲームは5回以降7点差とする。
(4) 決勝戦で、7回終了時点で同点の場合は、一死満塁方式の継続打順で、特別延長2回を行い、決しない時は抽選とする。
- 8 競技規則
(1) 全日本還暦軟式野球連盟公認規則を準用する。
(2) 投球距離は、16.30mとし、塁間距離は25.00mとする。
(3) 使用球は、公認球ナガセケンコウM球を使用する。
(4) 金属製(セラミックを含む)スパイクは禁止する。
(5) 捕手は、マスク、ヘルメット、レガースを必ず着用すること。
(6) 打者・走者は必ずヘルメットを着用すること。
(7) **DH制を採用する。**
(8) 背番号は、主将10番、監督30番とする。
- 9 大会規定
(1) 試合の組み合わせは、主催者で行い、必要事項とともに通知する。
(2) 小雨決行とするが、競技が不可能な時は、主催者及び主管連盟が判断を行い連絡する。
なお、大会運営上必要と認められる場合は、試合の組み合わせを一部変更することがある。
(3) 主催者で一日保険に加入するが、別個にスポーツ傷害保険に加入することが望ましい。
- 10 表 彰
(1) 1位、2位を表彰する。
(2) その他、最高齢者賞を授与する。
- 11 申 込 み
各市町村は参加チームを取りまとめ、7月31日(月)【必着】までに別紙様式により、各参加者の健康調査票を添えて、大会事務局あて参加申込みを行うものとする。
- 12 競技種目責任者
大分県還暦軟式野球連盟 理事 和田 富生



19 シルバー囲碁大会

- 1 趣 旨 高齢者が日常生活で気軽に楽しめる囲碁大会を開催し、相互の交流を図るとともに、広く高齢者への普及を促進し、仲間づくり・生きがいづくりを進める。
- 2 主 管 日本棋院大分県本部
- 3 期 日 令和 5年9月24日(日)
- 4 会 場 **母子父子福祉センター 3階会議室・研修室**(大分県総合社会福祉会館3階)
- 5 日 程 受 付 8:30~10:10
開 始 式 10:10~
交 流 試 合 10:20~
閉 会 式・表 彰 式 15:00~
- 6 参加資格 (1) 男子は、昭和39年4月1日以前に生まれた人とする。
(2) 女子は、昭和49年4月1日以前に生まれた人とする。
- 7 チーム編成
(1) 市町村ごとに1チーム3人(女子1人以上を含むこと)を編成する。
ただし、大分市3チーム、別府市・中津市・日田市・佐伯市は2チームとする。
(2) 女子を含めた3人のチームが組めない場合は、女子の代わりに男子の参加を認める。
ただし、その男子の棋力は初段格以下とし、出場は三将戦(女子)パートとする。
(3) 市町村名を記入したゼッケンを前(胸)に着用のこと。
- 8 競技方法
(1) (対局要領)
○主将戦パート、副将戦パートについて
・オール互先「黒6目半コミ出し」
○三将戦(女性)パートについて
・ハンデ戦とする…「一段級位差1子」
・ジゴは「白勝ち」
・互先のときは「黒6目半コミ出し」
(2) (互戦方法)
○各パートとも「4局打ち」とし、スイス方式による対戦形式で行う。
・試合の組み合わせは、主催者(審判)で行う。同一市の対戦はしない。
・参加数が「奇数」のときは、「不戦勝」とする。
(3) 競技時間は持時間制(各持時間30分の打切り)とし、時間切れの場合は、形成の如何にかかわらず負けとする。
- 9 競技規則 競技規則は、(公財)日本囲碁規約を準用する。
- 10 表 彰 (1) 上位3位までを表彰する。(3位2チーム)
(2) その他、最高齢者賞を授与する。(過去の受賞者は除く)
- 11 申 込 み 各市町村は参加チームを取りまとめ7月31日(月)【必着】までに別紙様式により、各参加者の健康に関する誓約書を添えて、大会事務局あて参加申込みを行うものとする。
- 12 競技種目責任者 日本棋院大分県本部 事務局長 水江 正一